

総合基礎科目	人間と社会					
看護学科	必修	1 単位	講義	平成30年度	前期	4 年次
臨床検査学科	選択					
科目名	政治経済とくらし Politics, economy and Life					
担当教員	内田滋					
目的	政治経済の変化が暮らしに及ぼす影響を戦後から現在にかけての政治・行政のシステムと動向、産業・経済の発展とくらしの変化、現代生活経済の諸課題について学ぶ。					
目標	<p>*授業方法：主として講義形式で必要に応じて質疑応答形式（Q&amp;A）も取り入れて学習するが、可能な範囲でアクティブ・ラーニングも行う予定である。</p> <p>*到達目標：現代政治経済と生活における諸領域の基礎から応用面について、制度や主体行動、市場機構などに関する基礎的知識を修得し説明できるようになるため、ならびに制度・理論・政策にわたる多角的視点から世界や日本の動向と諸問題に対して考察し修得するために自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とする。</p>					
他科目との関連						
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験					
	レポート	期末レポート：問題意識とその把握・設定、調査分析内容と方法、論理展開の整合性・正確さ等				0.4
	記録等					
	その他	毎回のミニレポートや授業でのQ&A・発言等を含む授業への貢献				0.6
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	宮崎勇・本庄真・田谷禎三著『日本経済図説』第4版、岩波新書					
参考資料	橋本大三郎著『政治の教室』PHP研究所、内田滋著『現代生活経済とパーソナル・ファイナンス』ミネルヴァ書房					
備考 (受講上注意、事前学習等)	必要に応じて資料を配布する場合がある。なお、本科目では、標準履修年次が4年生という受講生の属性に適合させるため、適宜シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがある。					